

# 超臨界流体部会 令和4年度第4回役員会・第45回部会集会 資料

## 議事録

(役員会)

日時：令和5年3月15日(水) 12:00～13:00

場所：東京農工大学小金井キャンパス E会場

(学会 GOING VIRTUAL システム併用)

参加者：24名

(部会集会)

日時：令和5年3月15日(水) 19:00～21:00

場所：吉祥寺東急 REI ホテル

参加者：30名

### 報告事項

- |                                     |      |
|-------------------------------------|------|
| 1. NEWS LETTER No.35 に関する報告         | 資料 1 |
| 2. 2022 年度基礎セミナーの報告                 | 資料 2 |
| 3. 化学工学会第 88 年会について                 | 資料 3 |
| 4. 2023 年度(令和 5 年度)化学工学年鑑について       | 資料 4 |
| 5. 会員数・会員異動について                     | 資料 5 |
| 6. 共催, 協賛事業, 関連国際学会について             | 資料 6 |
| 7. 令和 4 年度決算および令和 5 年度予算案(本部提出)について | 資料 7 |
| 8. 部会 HP について                       | 資料 8 |
| 9. その他                              |      |

### 審議事項

- |                                  |       |
|----------------------------------|-------|
| 1. 次期役員(部会長, 副部会長, 各分科会正代表者)について | 資料 9  |
| 2. 令和 5 年度部会幹事・委員について            | 資料 10 |
| 3. 令和 5 年度活動計画(本部に提出した内容)について    | 資料 11 |
| 4. その他                           |       |

今回から、化学工学会は対面（オンサイト）主体での開催形態に戻って行われるようになった。役員会も学会会場にて対面主体で行われた（オンラインも併用。GOING VIRTUAL 参加者は約3名）。  
メモ：オンライン参加についても、大会登録（参加費の支払い）が必要となった。

部会長あいさつ（オンサイト）

渡邊部会長より、オンサイト開催に戻ったことをふまえてのあいさつがなされた。

報告事項

資料1 NEWS LETTER No.35 に関する報告

---

織田先生（オンサイト）より説明がなされた。次号の案内とともに、宇敷先生の後任として村上裕哉先生（東京理科大）が新しい担当となる旨が報告された。

資料2 2022年度基礎セミナーの報告

---

事務局（オンサイト）から報告された。2日間を通しての参加者が多く、またセミナー参加を目的とした新規入会者が数名（さらに部会法人会員1社）あった。また、セミナー後の参加者からの電子メールにて、このようなセミナーについては今後も期待する旨の連絡があったことが報告された。

資料3 化学工学会第88年会について

---

事務局（オンサイト）から報告された。年会は、化学工学会本部の主催である。超臨界流体部会の注目講演について紹介された。

資料4 2023年度(令和5年度)化学工学年鑑について（とりまとめ エネルギー分科会）

---

事務局（オンサイト）から報告された。2023年は、エネルギー分科会がとりまとめを行い、各項目の執筆担当者が示された。

資料5 会員数・会員異動について（令和4年9月から令和5年2月まで）

---

事務局（オンサイト）から報告された。

資料6 共催、協賛事業、関連国際学会について

---

事務局（オンサイト）から報告された。笹居先生から、WasteEng2024が東北大学（仙台）で開催されることが紹介された【役員会および部会集会の両方で紹介】。

## 資料 7 令和 4 年度決算および令和 5 年度予算案(本部提出)について

---

事務局（オンサイト）から報告された。また、監査の結果について猪股先生から報告があった。特定費用準備資金計画については、おおむね計画通りに進んでいる旨が説明された。なお、現状の会計システム（PCA 会計）については、予算に首記残高が反映されていない点があり、その点を化学工学会本部の会計担当と今後調整する旨が報告された。

## 資料 8 部会 HP について

---

小野先生から報告された。昨年 12 月に部会のホームページ URL が変更になり、旧 URL はじきに利用できなくなる旨が説明された。

### 審議事項

## 資料 9 次期役員(部会長, 副部会長, 各分科会正代表者)について

---

役員会前に内田先生（次期部会長）から、『今後の部会運営も踏まえ、皆様の意見に基づいて新役員を決めたい』旨の意向が示された。内田先生の当日のオンサイトでの都合がつかず、オンライン参加で役員会出席者と議論した。本件は、役員会後にすみやかに案を作成し、あらためて審議することとした。

## 資料 10 令和 5 年度部会幹事・委員について

---

役員会前に内田先生（次期部会長）から、『今後の部会運営も踏まえ、皆様の意見に基づいて新役員を決めたい』旨の意向が示された。内田先生の当日のオンサイトでの都合がつかず、オンライン参加で役員会出席者と議論した。本件は、役員会後にすみやかに案を作成し、あらためて審議することとした。なお、資料 10 に記載した委員については、了承いただいた。

## 資料 11 令和 5 年度活動計画(本部に提出した内容)について

---

事務局（オンサイト）から説明された。なお、PPEPPD2023, ICSST23 については、部会集会において、松田先生から説明があった。

第 54 回秋季大会での超臨界流体部会シンポジウムについては、春木先生より説明いただいた。なお、部会横断型シンポジウム（CVD 反応分科会）については、まだ超臨界流体部会に共催の連絡がないが、毎年共催となっているので、この役員会にて共催を了承（シンポジウムが企画された場合）いただいた。さらに、基礎物性部会との共催で『van der Waals 式 150 周年を祝した』部会横断型シンポジウムが企画されていることが紹介された。

部会設立 20 周年記念書籍については、渡邊部会長から説明があった。2022 年度基礎セミナー講演内容をベースにして進めたい旨が報告された。

令和 5 年度の活動計画として、資料 11 の内容で進めることが了承された。

## その他

小野先生より、超臨界流体部会 HP の今後の対応については、業者との契約更新を行わない方向で対応する旨の説明があった。理由は、更新費用が値上げ（参考：年間 9 万円から 15 万円）されていること、HP 担当者が直接 HP を操作できる環境になっていることである。あらためて、審議資料を作成し、メール審議をお願いしたい旨の説明があった。